

マイクロチューブとめん棒を使っただ液の実験(中2)

★1個4円ぐらいです。



★マイクロチューブに目盛りがついているので、デンプン溶液をスポイトで1cm³ところまで入れました。少ない量



だ液の採取にめん棒を使うのは牧野先生に教えていただきました。

★めん棒だと、生徒達が抵抗なくだ液の採取をしていました。(この実験の前に、ヒトのほおの内側の細胞の観察をしたので、めん棒を口に入れることに抵抗がなくなっていることも理由の1つです)



だ液を含んだめん棒を、チューブに入れて、そのまま混ぜるだけなので、簡単にできます。(めん棒をとり出すときに、綿の部分をチューブにあてて、しぼった方がいいです)



★ふたを閉じると50cm³の
ビーカーにポイポイと
入れられます。
(対照実験として、水をめん棒に
ひたして、だ液と同じようにし
ています→C・D)



とっても便利で
講師の先生の
アイデアです。



★ヨウ素液を入れた後、ふたを閉じてよく混ぜます。

